



# 連盟だより

<http://www.jcfnc.org>

2010年11月30日発行 Vol.8

## 「偶然」と「必然」

会長 松浦 功

(Chorale May 所属)



大学に入った時、将来は外交官になりたいと思っていた。そして、早くからその為の猛勉強をした。3年生の時、外交官試験を受け、幸いにも一次試験にパスした。翌年は、一番大変な一次試験は免除で二次試験に進めるので、合格の可能性はより高くなるので気合も入っていた。3年

生の3学期のある朝のこと、朝刊を読んでいるとそこに国際連合学生研修計画(United Nations Internship Program for College and University Students)募集の記事があった。当時は、外国へ行くことは一般的に少なく、また為替制限もあり持ち出しドルも500ドルまでと決められていたので、海外へ行ける人は限られており、この募集計画は大変魅力的だった。

いろいろの審査を終え、最終的に日本からの派遣代表学生に選ばれた。そして4年生になった。そこで大問題が起こった。というのは、インターンは夏の7月一杯、ニューヨークの国連本部に詰めることになり、外交官試験の第二次受験期間と重なることが判明。それからが大変。大学の先生(外交官試験の試験委員をしている先生も含め)や、先輩等に相談、熟慮検討の結果、結局国連インターンの方を選ぶことにした。

さてそうすると、就職の手当てをしないとイケない。丁度、家庭教師をしていた高校生のお父さんが、三和銀行(現三菱東京UFJ銀行)の京都支店長をしておられ、早くからうちへ来い来いと言われていたのでお願いしたら、本店人事部へすぐに出頭させられ、面接の上即「内定」となり、心配した就職もあっけなく決まってしまった。

実は、この国連研修計画への参加は、私の人生を大きく変えることになるのである。ニューヨークでの1ヶ月

のインターン生活及びさらに滞在を延長した3ヶ月間は、ドメスティックな辺り倒でがり勉の私を世界へ目を開けてくれ、人生を生きることを改めて示してくれたと言ってもいいと思う。

それだけではなく、私の人生の伴侶となる妻との出会い、また公私にわたってお世話になる上司との出会い(この方は、後に頭取・会長と栄進されるのだが、その時私が秘書役を務めることになる)、UC Berkeleyのロー・スクール留学、ロンドン・ロスアンジェルス・ニューヨーク勤務等々、もし外交官の道を進んでいたら考えられなかったことを経験するのだ。そして何よりも、もしそうなれば今ここにこうしている筈がないのである。

それは、2月のある朝、新聞を“偶然”に読み、国連インターンの記事を“偶然”に見つけたことから、私の人生は一定の方向に向かって走り始めたのだ。でも、私にはそれは決して偶然ではなく、必然だったという気がしてならない。

皆さんも、大半の方は結婚しておられると思いますが、自分の伴侶との出会いを振り返って考える時、例えば、さだまさしではないが、ある雨の降る日、雨宿りをしていた時に、出会った彼氏と結婚に発展した場合もあるでしょう。でもそれは、本当に偶然だったのでしょうか？ 同じ職場のあるプロジェクト・チームに属していた彼氏と、ずいぶん議論しましたね、それがきっかけで親しくなりゴールインということもあるでしょう。偶然ですか？

20年以上前の出来事だが、私の上司の部長が、大阪に出張した。少し早めの午後のフライトで飛び、夜はマージャンでもするかという状況にあった。しかし、根が真面目で間違ったことがきらいなその部長は、やはり5時以降のフライトに変更して出発した。なんと、もし当初のフライトに乗っていたら、御巢鷹に飛行機は衝突していたのだ。彼の命は、彼の真面目さが救ったのだ。これも偶然でしょうか？

偶然是偶然で終わらない、というのが私の考えです。それは必然につながっているのだと思う。皆さんはどう思われますか？



## 体験地元合唱団報告

三浦るり子

(Chorale May / Ensemble Shiki / SFFC 所属)

### 7月4日 日曜日

梅雨の晴れ間のお洗濯三昧の毎日です。ついでにお布団干しにも命を掛け、布団叩きの音が近隣にこだまします。今年の雑草にはオオバコが妙に多くて、小学校時代に運動場に生えていたオオバコで草相撲をしたことを思い出しながら草むしりにも精を出しています。

その後いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

先週の水曜日に地元合唱団の見学に行ってみりました。その時の様子を「体験地元合唱団報告その1、2」としてお送り致します。

#### その1 (6月30日)

水曜日の夜7時から始まる「土曜会」という混声合唱団の練習場所は、我が母校、山形県鶴岡市立第3中学校。私が通ったのは新築間もない頃でしたが、ウン十年も経った今では古ぼけた学校と化していました。田んぼのド真ん中にあったその学校もいまや住宅街の中でも建物の中は当時と変わってなくて、本当に懐かしかったです。

さて、この「土曜会」、名前からお察しのとおり、発足当初は毎週土曜日に練習していましたが、今の指揮者になって週2回、さらに、週末にはいろいろな所で歌っているという大変熱心な合唱団です。そして、何度も全日本合唱コンクールに入賞している合唱団でもあります(今年は全国大会に出場が決まりました。11月21日、本選\*です)。指揮者の柿崎泰裕氏は、私の高校の大先輩で、1年間だけ所属した音楽部の合宿などでお世話になったことがあります。(現在、鶴岡市立第2中学校の校長先生、来年3月でご退職です。どう見ても50代前半にしか見えません!) その後も何度かお会いしたことはあるのですが、積極的に言葉を交わしたというわけではないので、私のことなど覚えていらっしゃらないと思いつつ、先生がはいつてこられた時に立ち上がった途端、「知ってるぞー、るり子さん! どうしたー?」と目を真ん丸くして声を掛けてくださいました。それで、私の状況をかいつまんで話しますと、とても喜んで、積もる話はまた後で、とにかく歌おう、ということになりました。

発声練習は特に目新しいものではありませんでしたが、その後のカデンツ(度、度、度、度(属7)、度)\*\*で、「おおっ」と1人どよめきました。上手い! きれい! 深い! 厚い! 月並みな言葉ですが、そうな

のです。

そして、いよいよ曲。今取り組んでいるのはコンクールの課題曲「NE TIMEAS, MARIA」(VICTORIA)と自由曲「DIES IRAE」(PIZZETTI)です。私はアルトにはいつて歌いました。何と気持ちの良いことよ。上手い合唱団で歌うと、自分の声が出せず、溶け込むので気持ちがいいのです。特別な声質が目立つということがありません。また、指導が素晴らしく、私の楽譜は瞬く間にメモで埋め尽くされました。目から鱗の事も多く大変勉強になりました。

最後に歌った「荒城の月」(寺嶋陸也編曲)はなかなかよかったので楽譜を手に入れたいと思っています。

あっという間の充実した2時間の終わりに面白いことがありました。「終わりの会」があるのです。その日の係(日直当番?)が練習の感想と連絡事項を伝える会です。何だか学校みたいでほのぼのとしました。

練習後、とにかく話を聞きたいから、明日会おうということになりました。先生にとって、私の出現は本当に驚きで、不思議でならなかったようです。

#### その2 (7月1日)

翌日の夜、柿崎先生はどっさり資料を持って現れました。まずは近況報告です。と言っても高校を卒業してからかなりの年数を経ているので話が尽きるはずもありません。柿崎先生の合唱に対する熱い思いに聞き入りました。柿崎先生は一旦音楽とは関係のない四大へ進まれたのですが、やはり諦め切れず、国立音楽大学を受け直し、卒業後、長男と言うことで田舎に戻り、実家(呉服屋)の家業は継がないものの、音楽教師として地元根付きました。1980年代、赴任先は荒れに荒れた中学校。なんとか生徒たちを学校に気持ちを向けようと始めたのが『合唱』です。柿崎先生の合唱への情熱は赴任先のみならず、社会人、他の学校の子供たちまで巻き込んで、今や鶴岡市は『合唱の街』と言われるほどになりました。

註\* : 21日の全国大会において、鶴岡土曜会混声は一般部門Bグループ(33人以上)で銅賞を受賞しました。

註\*\* : の和音(ドミソ) の和音(ファド)  
の和音(ソシレ) 属7の和音(ソシレファ)



山形県鶴岡市にて。出羽山脈を背に自転車で行く道。



## 善通寺混声コールとの 友好コンサート報告

福井良子

(Choral Cosmo 所属:庶務担当)

恵子先生の出身地である善通寺市の混声合唱団との友好コンサートをやりましょう、という話が次第に具体化し、いつどこでやるか、コンサート後に2日ぐらい市内観光などに行きたいがどこがいいか、などしょっちゅうメールでやり取りをしていたのがつい昨日のように感じられます。日時場所の設定、プログラム、出迎え係、滞在ホテルからの送迎係、米国側グループも含めたWelcome dinnerの準備、そして観光スケジュールなどが決まり、これなら何とかかなりそう、と思ったときはほっとしました。(でも、ヨセミテ日帰りツアーの案は私としてはかなり抵抗があり、せっかくヨセミテに行くならば日帰りでなく一泊してSF観光を減らしたら、とお勧めしたのですがどうしても両方見たいという御希望がありましたので。)



2010年9月18日(十)リハーサルにて

9月18日(土)は8人で空港へ迎えに行き、その日の夕方方はPrince of Peace Church ChoirとLadiesongの方々とのリハーサルに続いてWelcome dinner (pot luck) をしました。19日(日)は昼間は近所の観光などに御一緒し、そして夜7時から本番のコンサートをPrince of Peace教会で。その次の日に善混の皆さんはナパワイナリー組とヨセミテへ組に分かれての日帰りツアー、21日はサンフランシスコ市内観光、22日に日本へ出発、という非常に中身の濃いハードスケジュールでありました。それにもかかわらず皆さん大変に満足し、無事に帰国されたご様子です。その後いただいたお礼のメッセージ、これらを読み返すとあの時の実感がよみがえってきます。

**「行ってよかった、歌えてよかった。異国の地に、人生の思い出を創る合唱が出来ました。...(中略)...** コスモのメンバーさんの大勢のおもてなしや、サプライ

ズには、言葉に尽くしきれない慈愛と幸せの時間を受けました。他の合唱団の皆さんのとのコラボは、会場のスタンドグラスの雰囲気とマッチして、荘厳に&神聖堂々素晴らしい興奮に包まれ、有り難い恩恵に重ねて御礼申し上げます。歌う気持ちと、歌える喜びはずっと「世界に一つだけの花」です。...

**「...本当に、歓びと感謝と感動に満ち溢れた交流の2日間でした。**

**音楽は世界共通の言葉だという、ありふれた言葉が実感を伴って胸に響きます。**

素晴らしい教会堂でそれぞれのグループのハーモニーに耳を傾け、楽しませて頂き、私達の歌声もそこで皆様に聴いて頂いたことは、私達の合唱団にとって、かけがえのない貴重な財産となると確信しています。そして、pot luck party で、皆様のお心のこもったお料理の数々を頂きながら、各テーブルでそれぞれに楽しくお話が出来たようで、何とか英語で話した人も、英語の出来ない人もコスモの皆様方に通訳をして頂きながら、アメリカ人の方々とも親しく交流ができたと言っておりました。

最後の素敵なサプライズのケーキも、お心づかいに感謝しながら、皆で嬉しく頂きました。そして、恵子先生のおっしゃる通りの『コスモの素晴らしいチームワーク』で、送迎や観光案内をして頂き、善混の誰もが心から感謝しておりました...(中略)... 残りの2日間、ナパグループもヨセミテグループもそれぞれに楽しみ、市内観光も、ツインピークス、ゴールデンゲイトブリッジ、フィッシャマンズワーフの後は、美術館グループと水族館+クルージンググループに別れて、楽しんだり、夜はジャズ演奏のある店で夕食を楽しむ人あり、早朝からケーブルカーに乗る人あり、と、それぞれに短い時間を楽しく過ごし、本当に心を残しながら、サンフランシスコ、そしてカリフォルニアを後にしたような次第です。...



当初はどうなることかと思いましたが、音楽を通して素晴らしい交流会となりました。本当に良かった！◎

“I left my heart in San Francisco ..... your golden sun will shine for me ---.”

# サンフランシスコ日本祭いしかわ 2010

『サンフランシスコ日本祭いしかわ』(石川県芸術文化協会、石川県、金沢市主催)が、11月22日(日)、サンフランシスコ デービス・シンフォニー・ホールにおいて開催された。この日本祭いしかわは、威臨丸来航150周年記念日米交流事業の最後のイベントとなる。

石川県芸文協の海外公演は、ウィーン(2004年)、オーストラリア(2006年)、ドイツ(2008年)、と、今までに3回行われており、今回が4回目。

小松空港、羽田空港、成田空港経由ではるばるやって来た石川県の芸術家達は、デービス・シンフォニー・ホールを圧倒する演出と演技で来場者を楽しませてくれた。ロビーでは生け花の展示やお茶席で来場者を出迎え、ステージでは尺八・三味線・胡弓の演奏、民謡、詩吟、剣舞、ダンス、バレエ、客席とステージでの着物ショーなどを繰り広げ、石川県が誇る質の高い伝統芸術や文化による、まさに『日米文化交流・友好・親善』の光景がそこにあった。

## 『サンフランシスコ日本祭いしかわ』プログラム 【舞台プログラム】

### ▶ 第1部 「日本の美」

- ・十二単着付けショー(「宮中絵巻」ショー風)
- ・合唱(後半部分は米国合唱団と共演)
- ・吟剣詩舞

\*\*\* 休憩(20分) \*\*\*

### ▶ 第2部 「石川の四季」

- ・民謡・三味線
- ・着物ショー「冬」
- ・バレエ
- ・着物ショー「春」
- ・吟剣詩舞
- ・着物ショー「夏」
- ・リズムダンス、吟剣詩舞
- ・着物ショー「秋」
- ・胡弓、バレエ、太鼓
- ・フィナーレ(全員)

### 【ロビー展示】

- ・いけ花(日米共演) = 大作4点、小品約10点
- ・茶席(米国グループが参加)
- ・石川県、金沢市の観光紹介

.....合唱の部プログラム.....

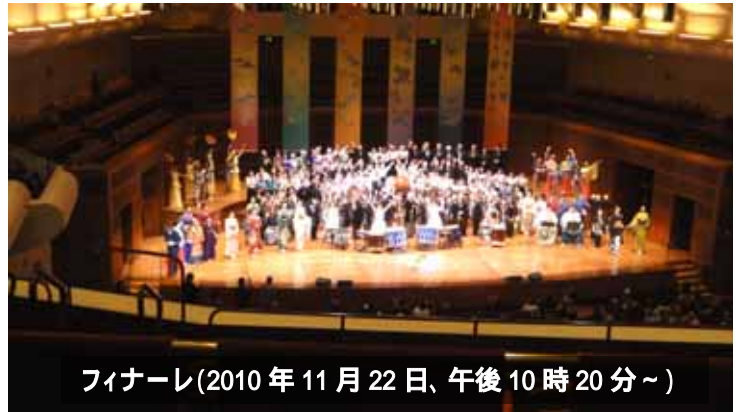
### 石川県合唱連盟合唱

- 指揮：西脇 恵      ピアノ：篠崎由美  
・金木犀の匂う道  
・犀川

### 日米合同合唱

- 指揮：朝倉喜裕      ピアノ：篠崎由美  
・ふるさとの四季(混声)

.....



フィナーレ(2010年11月22日、午後10時20分~)

.....

お祭りは、北カリフォルニア日本合唱連盟男性による日米両国歌“君が代”・“The Star-Spangled Banner”の合唱(指揮：三浦るり子さん)で幕が開いた。厳かに響き渡る歌声は、日米の架け橋となる。



幕開けに日米両国歌を合唱  
指揮は三浦るり子さん



リハーサル風景：日米合同合唱。指揮は朝倉善裕さん  
石川県合唱連盟に北カリフォルニア日本合唱連盟  
が加わり『ふるさとの四季』を合同で歌う。

# ♪ 思い出のひとコマ ♪ サンフランシスコ日本祭りしかわ



2010年11月21日(日)の合同練習にて。左から、西脇恵さん  
挨拶をする松浦さん(左上) 篠崎由美さん  
朝倉善裕さん



2010年11月22日

リハーサル風景:石川県合唱連盟の皆さん(指揮:西脇恵さん)

石川県からは、石川県合唱連盟理事長朝倉善裕(あさくらよしひろ)さんご指導の『コールとがし』、西脇恵(にしわきめぐむ)さんご指導の『コールかがやき』など県内の合唱団から28人の方々が参加した。

石川県合唱連盟が発表した『金木犀の匂う道』(作詞:中田敏明、作曲:小椋佳)は金沢市が企画して作られた歌で、金沢市民は大切に歌い継いでいるようだ。



本番後、『遥かな友に』を口ずさみながら記念写真



本番前、控え室で歓談する北カリフォルニア日本合唱連盟のメンバー



リハーサル後  
表情は真剣です。



本番後 感動の中、  
表情は晴ればれ。



定番を歌う男性メンバーと聴き入る皆さん。



左上:クレッシェンド締め音頭をとる三浦さんと朝倉さん  
右上:軽快な見事なハモリで控え室をうならせるSFFCの皆さん



石川の皆さんも朝倉さんも歌いました。

## 連盟ボードミーティング



2010年9月10日 午後7時~ サンマテオの喜作にて。議題は、日本祭りしかわ、サンマテオカレッジアジア月間(合唱連盟合唱祭)、第九を歌うコンサートなど

左上写真:二川さん、松浦さん(会長)、棚野さん、甲川さん(副会長)  
右上写真:山崎さん(書記)、原田さん(会計)、古田さん  
左下写真:古田さん、黒田さん(副会長)、福井さん、松浦さん、棚野さん  
(ボードミーティング写真撮影:上田牧子さん)

# ♪ 思い出のひとコマ ♪

## ♥ Choral Cosmo ♥

2010年9月19日(日) 友好コンサートより  
9月18日 リハーサル&歓迎夕食会



9月19日  
コンサート当日



LadyeSong と  
指揮者(写真上)



写真上  
Prince of Peace  
Church Choir

善通寺混声コール



(友好コンサート写真提供: コーラルコスモ、仲井健之さん)



## 関連団体コンサート案内

### ▶ クリスマス・シング・アロング

出演: Chorale May 他  
2010年12月5日(日) 午後3時  
Sturge Presbyterian Church  
25 South Humboldt St., San Mateo

### ▶ クリスマスコンサート ふるさと会主催

出演: SFFC、Chorale May、Ensemble Shiki  
2010年12月12日(日) 午後2時  
Pine United Methodist Church, San Francisco  
426 33rd Ave., SF

### ▶ Choral Cosmo 第12回定期演奏会

2011年2月19日(土) 午後7時  
Prince of Peace Lutheran Church, Saratoga  
12770 Saratoga Ave., Saratoga, CA 95070

### ▶ Madama Butterfly

出演: Choral Cosmo の指揮者香川恵子さん他。北カリフォルニア日本合唱連盟のメンバー多数出演。  
2011年4月2日(土) 午後5時  
Santa Clara University

### ▶ College of San Mateo 『アジア月間』 北カリフォルニア日本合唱連盟合唱祭

2011年5月21日(土) 午後7時~8時30分

### ▶ 日米合唱祭

2012年4月14日(土)  
War Memorial, Herbst Theatre  
401 Van Ness Ave, SF, CA 94102



### 編集後記

三浦るり子さんの『体験地元合唱団報告』は、今号から4回の連載です。2010年夏、出身地山形県鶴岡市の合唱団との日々のなかでコラル・メイの方々に届けられたメッセージ(私信)ですが、連盟だより掲載のために一部手を加えて提供してくださいました。第2回『体験地元合唱団報告』は連盟だより第9号(1月発行)に掲載予定です。

編集部は皆様からのご投稿をお待ちしております。各合唱団の日ごろの写真や、文章の間隙を彩る、写真・イラストなども、広く皆様から募集しております。連盟だより既刊号: <http://www.jcfnc.org/Home/newsletters>

### 連盟だより 第8号

発行者: 松浦 功  
編集者: 八木 妙子  
発行: 2010年11月30日  
北カリフォルニア日本合唱連盟  
Japanese Choral Federation of Northern California  
[info@jcfnc.org](mailto:info@jcfnc.org) <http://www.jcfnc.org>